



# Hello峰山



市HP内掲載記事へ

	R2.2末	前月比	R2.1末
0歳～14歳	1,490	-2	1,492
15歳～64歳	6,730	1	6,729
65歳～	3,907	5	3,902
合計	12,127	4	12,123

## 地域

### 丹後暮らし探究舎「見守り&学習支援」 小中学校の一斉臨時休業をふまえ、民間で出来ること

丹後暮らし探究舎（峰山町杉谷）で、施設を無料開放し子どもたちを見守る取組が、3月3日から24日まで行われました。

「何かあった時に町や地域全体で支え合える仕組みを作りたい」という強い思いから、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、小中学校が臨時休業となったことをきっかけに、放課後児童クラブなどを活用することが難しい家庭などへの支援策として行われました。

保護者にできるだけ負担がかからないよう柔軟な受け入れ体制のもと、1日におよそ3～5人の子どもたちが施設で過ごしました。

子どもたちの見守りには、同団体のメンバーをはじめ、市内から多くのボランティアの協力を得て、ボードゲームや工作キットなど、子どもたちが楽しみながら学

習できる環境が整えられました。

利用した保護者からは、「友達と外で自由に遊べず落ち込んでいた子どもたちが元気に過ごせている」

「預け先がなかなか見つからず、今後仕事も休めるかどうかわからない中で、安心して利用できるのがありがたい」という声が寄せられています。

同団体の代表理事を務める坂田真慶さんは、「今回は緊急の対応となったが、



学習用アプリで英語やプログラミングが学べる！



集まった親子とボランティアのみなさん

一般社団法人 丹後暮らし探究舎  
Uイーターン者への移住支援や、小中高校などで外部コーディネーターとして教育・人材育成などを行っている。

今後とも日常的に子どもや大人たちがコミュニケーションを取れるような場を作っていきたい」とコメント。また、「丹後暮らし探究舎と繋がりのないところに情報が行き渡らないことが課題」とも語り、「今後も地域のためにできることを模索していきたい」と話しておられます。

## 地域に開いた学校づくりを目指す

市内の高校生の郷土愛を育み、地元への定住を促進すること等を目的に、3月1日より地域おこし協力隊として、能勢ゆきさんが着任しました。

兵庫県西宮市出身で、大学卒業後は京都市内で勤務されていたという能勢さん。当時の職場で講義やフィールドワーク等の企画を担当した経験から、人同

士を繋げて学びの場を作ることが、教育にも応用できると考え地域おこし協力隊となることを決意されました。

峰山高校を拠点とし、『総合的な探究』授業のカリキュラム編成や、生徒が地域と関わりながら学べるよう橋渡しを行うことが主な業務です。今後の活動について、能勢さんは「任期の



3年間をじっくり使って、アイデアを少しずつ温めながら、実践と反省を繰り返し、地域に開いた学校づくりをしていきたい」と述べました。